

# 令和3(2021)年度 ウィークエンド青少年セミナー①実施報告

実施日：令和3年6月5日（土）

本セミナーは、次代を担う青少年がボランティア活動や地域活動に積極的に参加できるよう、演習を中心とした主体的な学びをとおり、活動の企画・運営などの実践力を身に付けることをねらいとし、6～7月に全5回の内容で実施します。第1回は県立博物館で行われ、計26名が参加してスタートしました。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、受講者同士の距離を確保するなどの対策をとり、実施しました。



## 説明「県立博物館でイベントをやってみよう」

### 総合教育センター職員

当セミナーのねらいとスケジュールを全体で確認し、県博デーに合わせて実施されるイベントについて説明しました。また、昨年度のイベントの様子を画像で提示することで、受講者は自分たちが行うイベントのイメージ作りができ、今後の活動に向けて、意欲を高めることができましたようです。



## 講話「県立博物館の取組」

### 県立博物館管理部教育広報課長 馬籠 和哉 氏

県立博物館の仕組み、人文課と自然課それぞれの取組（特別展、企画展、テーマ展、各種講座など）、教育広報課の取組（様々な解説業務について、学校との連携業務）など多岐にわたる講話内容でした。また、親しみやすい博物館になるための取組として位置付けられている県博デー（県立博物館の日）についての説明があり、受講者は博物館に対する興味関心が高まった様子でした。



## 講話「若者には地域を変える力がある！」

### 宇都宮大学地域創生推進機構

### 社会共創促進センター特任教授 坂本 文子 氏

坂本先生が現職に至るまでのお話からスタートし、「あなた自身で社会を変えることができますか？」という問いかけが冒頭にありました。ほとんどの受講者は社会を変えられるとは思っていないようでした。その後、坂本先生による現代社会に対する分析、宇都宮大学の学生による地域活動の紹介があり、コロナ禍でも熱心に活動している学生同士の協議の様子（映像）を見て、受講者は大いに刺激を受けた様子でした。終盤、坂本先生の再度の問いかけに、何名かの受講者は「社会を変えることができると思う」と挙手をしていました。



### \*受講者の感想より\*

- 県立博物館や地域社会について学ぶことができ、とても充実したセミナーでした。
- とても楽しく、興味深い内容の講話でした。坂本先生の話は将来について考える機会となりました。
- 自分の行動が意外と地域社会につながっていることを学びました。
- 坂本先生の講話は、地域の課題について考える良い機会となりました。
- 学校では聞くことのできないような講話内容でした。自分の将来に役立てたいと思いました。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで  
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp